

文化表現学科
観光実務士課程

2025 年 4 月 1 日 更新

2025 年 6 月 13 日 更新

科 目 名	観光学総論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	かんざき こういち 神 崎 公 一	
ナソバ°リング°コート°	TOS3211		授業形態	講義	実務経験	有			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	観光は、宿泊、交通、物販売り上げ、雇用など地域を元気にし、経済効果が大きい、人口減少の中で観光を起爆剤にして地域を盛り上げたい思いがある。観光の歴史、産業としての観光、宿泊業や交通、旅行会社などの現状、そうした業界がどのような人材を求めているかなどを学ぶ。								
到 達 目 標	1．観光全般について、その歴史、経済とのかかわりなどを総合的に説明できる。 2．観光に関連する産業の構造について総合的、多面的に理解している。 3．日本の観光に不可欠のインバウンド（訪日外国人観光客）への取り組みについて、語ることができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1, 2, 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーションとガイダンス 講義の全体像の説明	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	授業の狙いと意義についてまとめる				
	第 2 回	内容	観光とは何か。なぜ、観光が重視されるのか。	予習	観光が重視されるのかについて調べておく				
				復習	国、地方における観光の役割をまとめておく				
	第 3 回	内容	江戸時代のお伊勢参りから現代まで観光の歴史	予習	江戸時代からの観光の歴史を調べておく				
				復習	日本と世界の観光の歴史をまとめる				
	第 4 回	内容	観光と経済 産業としての観光業とは何か	予習	産業界における観光業について調べておく				
				復習	観光と他産業との比較をまとめておく				
	第 5 回	内容	温泉やおもてなしなど日本の観光の強みとは何か。	予習	おもてなし文化など日本観光強みを調べておく				
				復習	自分なりの日本の観光の強みをまとめておく				
	第 6 回	内容	観光大国といわれる外国における観光の位置付け	予習	フランスなど観光大国について調べておく				
				復習	海外の観光大国の現状をまとめる				
	第 7 回	内容	コロナ禍後で戻ってきたインバウンド(訪日外国人)	予習	国、年ごとのインバウンドの推移を調べておく				
				復習	インバウンドがなぜ重要かまとめておく				
	第 8 回	内容	日本人と海外旅行。海外旅行の歴史	予習	日本人の海外旅行の変遷について調べておく				
				復習	日本人の海外旅行の今後についてまとめておく				
	第 9 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション①	予習	発表するテーマを決め、資料を作っておく				
				復習	発表資料をもとに理解を深め、まとめる。				
	第 10 回	内容	地方にとつての観光の位置づけ	予習	自治体の観光の取り組みを調べておく				
				復習	観光で成功している地域をまとめておく				
	第 11 回	内容	観光と情報発信 メディアから SNS まで	予習	観光にとって情報発信とは何かを調べておく				
				復習	観光分野の SNS の効果についてまとめておく				
	第 12 回	内容	観光と IT 化 人手不足対応の切り札となるか	予習	観光における IT 化について調べておく				
				復習	IT 化が進んでいる観光地をまとめる				
	第 13 回	内容	観光と世界遺産	予習	世界遺産とは何かを調べておく				
				復習	世界遺産登録と観光の関連をまとめておく				
	第 14 回	内容	新たな旅の目的、道の駅	予習	道の駅とは何かについて調べておく				
				復習	地域観光に与える影響をまとめる				
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション②	予習	発表するテーマを決め、資料を作っておく				
				復習	発表資料をもとに理解を深め、まとめる。				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて、毎回課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、実技（ ）、授業態度【出席数、積極的参加】（30%）							
	教科書	使用しない。必要に応じ資料配布、ウェブの関連サイトを紹介する							
参考文献	『令和 6 年版 観光白書』 観光庁編。								
補足事項	課題作文は毎回提出してください。予習、復習には観光地や地方自治体のウェブサイトを活用してください。								

科 目 名	観光地理学		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	かんざき こういち 神 崎 公 一	
ナンバリングコード	TOS3221		授業形態	講義	実務経験	有			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	国内外の観光地の地理を把握し、その特徴、なぜ人気となっているかなどについて、課題を総合的に理解できる授業とする。日本人が海外旅行をする場合、外国人観光客が日本旅行をする双方のケースで、交通・移動・宿泊などの現状と課題について学ぶ。								
到 達 目 標	1. 国内外の観光地の立地などを理解することで、地理的な知識を明らかにできる。 2. 観光地の歴史、地域とのつながり、文化などについて説明できる。 3. 観光・旅行業界で戦力となる人材に必要な、地理的知識をアピールできる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1.2.3）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 観光地理学とは何か	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	授業の狙いと意義についてまとめる				
	第 2 回	内容	地域観光と交通機関の役割	予習	交通の発展と観光の関係を調べておく				
				復習	地域にとっての交通の重要性をまとめる				
	第 3 回	内容	日本① 東京、大阪などの都市観光の魅力とは	予習	東京や大阪の観光地としての魅力を調べておく				
				復習	大都市の観光の課題についてまとめる				
	第 4 回	内容	日本② 地方の観光地の特色、特に温泉地について	予習	地方の有名な観光地について調べておく				
				復習	地方の観光地の成功例をまとめる				
	第 5 回	内容	中国① 北京、上海など大都市の魅力とは	予習	中国の代表的な大都市について調べておく				
				復習	中国大都市の魅力についてまとめる				
	第 6 回	内容	中国② シルクロード、三国志の舞台など歴史的名所	予習	日本人に人気の観光地について調べておく				
				復習	これらの観光地の魅力をまとめておく				
	第 7 回	内容	韓国、台湾、香港など東アジアの観光地の特色	予習	各地の代表的観光地について調べておく				
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる				
	第 8 回	内容	タイ、ベトナム、マレーシアなど東南アジア	予習	東南アジア各国の観光について調べておく				
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる				
	第 9 回	内容	聖地（アニメなど）と称される観光地について	予習	アニメツーリズムについて調べておく				
				復習	全国のアニメの聖地についてまとめる				
	第 10 回	内容	アメリカ① 大都市 ニューヨーク、ロサンゼルスなど	予習	アメリカ東部と西部の大都市を調べておく				
				復習	大都市観光の課題をまとめておく				
	第 11 回	内容	アメリカ② 大自然、国立公園の特色	予習	アメリカの自然について調べておく				
				復習	アメリカの国立公園の人気についてまとめる				
	第 12 回	内容	カナダ 環境重視のカナダの観光とは	予習	カナダの代表的な観光地について調べておく				
				復習	カナダの観光と環境との関わりをまとめておく				
	第 13 回	内容	ヨーロッパ① 南欧、中欧の観光地	予習	仏独伊などの観光地について調べておく				
				復習	日本とこの地域の関係をまとめる				
	第 14 回	内容	ヨーロッパ②、北欧。アフリカなどんの観光地	予習	北欧やアフリカの観光地を調べておく				
				復習	日本とこの地域の関係をまとめる				
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	授業を基にした発表資料を作っておく				
				復習	話し合った内容をまとめておく				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、実技（ ）、授業態度【出席数、積極参加】（40%）							
教科書	なし。必要に応じて資料を配布する。								
参考文献	『令和 6 年版 観光白書』（観光庁編） 世界地図帳（出版社はどこでも可）								
補足事項	課題作文によって、社会人となっても必要な文章力を養えるため、積極的に提出してください。								

科 目 名	実用英語			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナンバリングコード	TOS3212			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本授業は、観光業界や一般企業等で英語力の判断基準として利用される TOEIC のスコアアップを目指す。 TOEIC の問題を解くことによって、英語の基礎力を高め、語彙・表現力の向上と英文法の確認を行う。 また、TOEIC 試験対策を通じ、社会に出た時に英語が使えるように、実用的な英語表現を身に付ける。								
到 達 目 標	１． 英語の基礎力を身に着けている。（語彙を 3,000 語以上にする、基礎的な英文法を理解する、英語の日常会話やアナウンスが聞き取れる） ２． ビジネス英語における基本的なコミュニケーションをとることができる。 ３． ビジネス英語の文章で大意を理解することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2, 3, 4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス（TOEIC L&R Test について、授業の進め方や宿題、小テストについて）	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	TOEIC の試験概要について確認する				
	第 2 回	内容	Unit 1 Shopping（Listening）	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 3 回	内容	Unit 1 Shopping（Reading）	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「名詞」について学んだことを理解する				
	第 4 回	内容	Unit 2 Dining Out（Listening）	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 5 回	内容	Unit 2 Dining Out（Reading）	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「代名詞」について学んだことを理解する				
	第 6 回	内容	Unit 3 Daily Life（Listening）	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 7 回	内容	Unit 3 Daily Life（Reading）	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「形容詞」について学んだことを理解する				
	第 8 回	内容	Unit 4 Travel（Listening）	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 9 回	内容	Unit 4 Travel（Reading）	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「副詞」について学んだことを理解する				
	第 10 回	内容	Unit 5 Entertainment（Listening）	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 11 回	内容	Unit 5 Entertainment（Reading）	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「時制 1」について学んだことを理解する				
	第 12 回	内容	Unit 6 News & Media（Listening）	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 13 回	内容	Unit 6 News & Media（Reading）	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「時制 2」について学んだことを理解する				
	第 14 回	内容	Unit 7 Housing（Listening）	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 15 回	内容	Unit 7 Housing（Reading）	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「主語と動詞」について学んだことを理解する				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	毎回実施する小テストに対し採点・返却・解説を行う。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 授業内小テスト（60%）、授業態度【授業内での問題への解答】（ 40 %）								
教科書	『First Try for The TOEIC L&R Test』（Robert Hickling、金星堂）								
参考文献	なし（必要な際はプリント等を配布したり動画を見たりする。）								
補足事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書どちらでも可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。 成績評価に関して、学期中に TOEIC の受験を薦める。そのスコアにより成績を加点する場合がある。								

科 目 名	イベント・プランニング		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一	
ナンバリングコード	FAS3212		授業形態	講義	実務経験	有			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	オリンピック、サッカーW杯といった国際大会から万博、音楽やアニメフェスなどイベント成功のカギは集客、収支、安全性などだ。イベントの歴史を学ぶとともに、近年、景気回復の切り札として注目される観光を中心にイベントについての企画立案やPRの具体的手法などを学ぶ。								
到 達 目 標	1. 立案から開催までイベント成功手法について理解し、説明できる 2. 文化祭など身近なイベントの企画立案をして発表することができる 3. 観光関連のイベントについて理解し、説明できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2.3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション 講義の全体像の説明	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	授業の狙いと意義について理解する				
	第2回	内容	イベント開催の狙いと種類を「嵐」のツアーから学ぶ	予習	イベントとは何か、種類について調べておく				
				復習	「嵐」のツアーの成功について理解する				
	第3回	内容	観光振興とイベント。アニメ聖地、B級グルメなどを学ぶ	予習	観光振興とイベントの関係を調べておく				
				復習	観光関連イベントの重要性を理解する				
	第4回	内容	観光業の実情と集客の切り札としてのイベントを知る	予習	観光業の実態について調べておく				
				復習	観光関連イベントの重要性を理解する				
	第5回	内容	ファンツーリズムとイベント「嵐」、韓流ドラマから学ぶ	予習	ファンツーリズムについて調べておく				
				復習	ファンツーリズムの実態を理解する				
	第6回	内容	ドラマや映画のロケ誘致で集客プランニングを学ぶ	予習	イベントとしてのロケ誘致について調べおく				
				復習	ロケ誘致がいかに効果的であるかを理解する				
	第7回	内容	経済効果が大きい五輪、万博、国際会議の誘致などを学ぶ	予習	国際的イベントについて調べておく				
				復習	国際的イベントの多彩な効果について理解する				
	第8回	内容	7回までの授業をもとにプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作り、発表する				
				復習	プレゼンをもとに課題を検討する				
	第9回	内容	テーマパークや遊園地のイベント・プランニング	予習	レジャー施設のイベントについて調べておく				
				復習	レジャー施設のイベントの重要性を理解する				
	第10回	内容	地方の観光地、温泉地のイベントの成功例を学ぶ	予習	観光地、温泉地のイベントについて調べておく				
				復習	上記イベントの成功の理由を理解する				
	第11回	内容	観光列車、レストラン列車などのイベント企画を学ぶ	予習	交通機関のイベントについて調べておく				
				復習	交通機関のイベント効果を理解する				
	第12回	内容	インバウンド向けイベント・プランニングを学ぶ	予習	インバウンド向けのイベントを調べておく				
				復習	上記イベントの成功の理由を理解する				
	第13回	内容	デジタルによるイベント効果、オンラインイベント	予習	オンラインイベントなどについて調べておく				
				復習	オンラインイベントの効果と課題を理解する				
	第14回	内容	イベントの失敗と地元への影響（ゴミ、渋滞）を学ぶ	予習	イベント開催の課題について調べておく				
				復習	課題解決には何が必要かを理解する				
	第15回	内容	14回までの授業をもとにプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作り、発表する				
				復習	プレゼンをもとに課題を検討する				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	毎回、課題作文をGoogle Classroomに提出して、前回授業の振り返りを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）%、レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、実技（ ）%、授業態度【出席数、積極参加】（30%）							
教科書	特になし。必要に応じて資料を配布する。関連ウェブサイトを紹介する。								
参考文献	『ディズニーランドの秘密』有馬哲夫、新潮社。 『よみうりランド70年史』よみうりランド・神崎公一編 中央公論事業出版社 『会いたい気持ちが動かすファンツーリズム 韓流ブームが示唆したもの、嵐ファンに教わったこと』幸田麻里子、臺順子、流経大出版会								
補足事項	課題作文（200字以上）は社会人になっても文章力アップに役立つことを理解し、積極的に提出してください。								

科 目 名	観 光 事 業 論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	かんざき こういち 神 崎 公 一
ナバ`リング`コート`	TOS3215		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	新型コロナウイルス感染症により、観光業は弱さが表面化した。一方で、旅行・観光は今後も有望な分野だ。それを担う観光事業の課題、訪日外国人対策などを総合的に理解し、説明できるようにする。旅行の変化（団体から個人へ）にどのように対応しているかを学ぶ。							
到 達 目 標	1. 観光業の成り立ち、規模など、さらに課題と将来性を含め説明できる。 2. 日本の観光に何が必要かについて、訪日外国人対策インバウンド対策を含め説明できる。 3. 新型コロナ感染症に対する観光業の対応などに関し、自分なりの意見を言える。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1.2.3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーションとガイダンス。本講義の全体像	予習	シラバスを読み、講義の全体像を理解しておく			
				復習	この授業を通して何を学ぶかをまとめておく			
	第 2 回	内容	観光事業の歴史、規模、将来像	予習	観光事業とは何かを考えておく			
				復習	旅行会社、宿泊業の歴史などをまとめておく			
	第 3 回	内容	一泊二食、日本の宿泊業の特色	予習	日本旅館ならではの特色を調べておく			
				復習	これからの宿泊業についてまとめておく			
	第 4 回	内容	団体旅行から個人旅行、ひとり旅への推移	予習	旅行形態の推移について調べておく			
				復習	個人旅行、ひとり旅についてまとめておく			
	第 5 回	内容	若者の旅離れとシニアの余暇の使い方としての旅	予習	若者とシニアの旅について調べておく			
				復習	若者とシニアの旅の変化についてまとめておく			
	第 6 回	内容	格安旅行や格安航空などの広がりやデフレ	予習	宿泊費や交通費の格安化について調べておく			
				復習	なぜ、格安旅行が増えたのかをまとめておく			
	第 7 回	内容	くまモンなど「ゆるキャラ」、B 級グルメと観光業界	予習	「ゆるキャラ」、B 級グルメについて調べておく			
				復習	集客と「ゆるキャラ」の関係をまとめておく			
	第 8 回	内容	アニメの聖地巡礼と観光業界	予習	アニメの聖地巡礼について調べておく			
				復習	アニメが集客に与える影響をまとめておく			
	第 9 回	内容	観光業界と IT 化のネット予約と旅行会社	予習	宿泊業のネット予約の現状を調べておく			
				復習	ネット予約の問題点などをまとめておく			
	第 10 回	内容	観光事業とインバウンド 富裕層対策、地方への回遊	予習	インバウンドの現状について調べておく			
				復習	インバウンドの今後についてまとめておく			
	第 11 回	内容	なぜ地方で観光が重視されるか	予習	地方にとって観光の役割を調べておく			
				復習	地方自治体の観光政策をまとめておく			
	第 12 回	内容	観光事業の成功、失敗例	予習	成功、失敗した観光地を調べておく			
				復習	成功、失敗の原因をまとめておく			
	第 13 回	内容	休みが少なければ旅行に行けない。観光事業と日本の休暇	予習	日本と欧米の休暇制度の違いを調べておく			
				復習	観光にとって休暇の持つ意味をまとめておく			
	第 14 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション①	予習	1ー7 回の講義から発表資料を作成しておく			
				復習	ディスカッションした内容をまとめておく			
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション②	予習	8ー13 回の講義から発表資料を作成しておく			
				復習	ディスカッションした内容をまとめておく			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて、毎回課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（40％）、作品・発表（30％）、実技（ ）％、授業態度【出席数、積極参加】（30％）							
教科書	使用しない。必要に応じ、資料を配布する。							
参考文献	『新・観光立国論』（デービッド・アトキンソン、東洋経済新報社） 『令和 5 年版観光白書』（観光庁編）							
補足事項	文章力を高めることは、社会人になっても役立つので、課題作文は必ず提出する。							

科 目 名	環境ツーリズム論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	かんざき こういち 神 崎 公 一
ナンバリングコード	TOS3223		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	観光業が持続的に発展するには自然との調和、環境保護が欠かせない。地球温暖化や海洋汚染などを防ぎながら観光振興を図るための環境ツーリズムについて学ぶ。成功事例や問題点、観光と環境の両立は可能かを考える授業とする。							
到 達 目 標	1．近年、注目されている環境ツーリズムの重要性を理解している。 2．環境ツーリズムの実践例を知ることによって、課題などを説明できる。 3．観光と環境の両立が可能かについて、意見をまとめられる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1.2.3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーションと授業の全体像	予習	シラバスを読み、授業の意義を考えること			
				復習	自分なりに環境関連で何を学ぶかをまとめる			
	第 2 回	内容	環境（エコ）ツーリズムとは何か。なぜ、注目されるのか	予習	環境ツーリズムが注目される理由を調べる			
				復習	地球温暖化などと観光の関連性をまとめる			
	第 3 回	内容	観光＝経済・観光ビジネスと環境は両立するのか	予習	経済優先＝儲けと環境の関係を調べておく			
				復習	経済と環境の両立させた事例をまとめる			
	第 4 回	内容	環境ツーリズムと日本エコツーリズム協会の活動	予習	日本エコツーリズム協会の活動を調べる			
				復習	同協会加盟の団体の活動についてまとめる			
	第 5 回	内容	環境ツーリズムの実践例① 里山・村落	予習	埼玉県飯能の環境ツーリズムについて調べる			
				復習	全国の環境ツーリズムについてまとめる			
	第 6 回	内容	環境ツーリズムの実践例② 温泉	予習	岐阜県下呂温泉の環境ツーリズムに関し調べる			
				復習	温泉地の環境ツーリズムについてまとめる			
	第 7 回	内容	環境ツーリズムの実践例③ 世界遺産	予習	富士山や知床などの環境問題を調べておく			
				復習	世界遺産と環境問題についてまとめる			
	第 8 回	内容	インバウンドと環境ツーリズム	予習	外国人の環境問題の関心の高さを調べておく			
				復習	外国人対象の環境ツーリズムをまとめる			
	第 9 回	内容	海外の環境ツーリズム先進例① カナダ	予習	カナダの観光と環境の関連を調べておく			
				復習	カナダ国民の環境保護に関する意識をまとめる			
	第 10 回	内容	海外の環境ツーリズム先進例② ハワイ	予習	観光の島、ハワイについて調べておく			
				復習	ハワイ観光に関する環境対策をまとめる			
	第 11 回	内容	旅行業界、地域団体と環境ツーリズム	予習	環境ツーリズムと旅行業界の関係を調べておく			
				復習	環境ツーリズムと旅行業界の実践例をまとめる			
	第 12 回	内容	企業が取り組む環境ツーリズム	予習	JAL, JR などの環境への取り組みを調べておく			
				復習	観光関連産業の環境に配慮する理由をまとめる			
	第 13 回	内容	旅行者自身が行う環境に優しい旅とは	予習	環境に優しい旅はどのようなものか調べておく			
				復習	環境に優しい旅の具体的事例をまとめておく			
	第 14 回	内容	環境ツーリズムの課題と将来性	予習	環境ツーリズムの課題について調べておく			
				復習	環境ツーリズムの将来性についてまとめる			
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	これまでの講義について発表資料を作っておく			
				復習	ディスカッションした内容を整理する			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	毎回指示する課題作文を提出し、授業の振り返りを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（40%）、作品・発表（20%）、実技（ ）、授業態度【出席数、積極的参加】（40%）							
教科書	使用しない。必要に応じ、資料を配布する							
参考文献	『観光の力』（半藤将代、日経ナショナルジオグラフィック社） 『日本エコツーアー・ガイドブック』（海津ゆりえ、岩波書店） 『エコツーリズムの世紀へ』（エコツーリズム推進協議会）							
補足事項	関連図書が多くないので、日本エコツーリズム協会や政府観光局のウェブサイトを参考にする。							

科 目 名	エアライン実務		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	さ さ なおこ 佐々 直子	
ナンバリングコード	TOS3214		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	エアラインで働くキャビンアテンダント及び地上スタッフの仕事への取り組み方を学びます。接客業の仕事現場で求められる、知識・適正と能力（美しい言葉づかい・立ち居振る舞い・おもてなしの心）を学び実践できるスキルを身につけます。グローバル社会に対応できる、物事を柔軟に対処し、自ら考え、行動できる、ホスピタリティマインドにあふれた人材を育てます。								
到 達 目 標	1. エアライン・輸送業界で働く様々な方々の仕事を理解している 2. グローバル社会に適応できる、考え方や行動力・ホスピタリティマインドを日々の生活の中で発揮できる 3. 日本人としての素養である、美しい日本語・立ち居振る舞い・おもてなしの心を身につけ実践できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション ・CAの仕事とその魅力について CAの仕事研究	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく				
				復習	CAの仕事はどのような仕事なのかを説明できる				
	第 2 回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・日常生活のマナー	予習	マナーの必要性を自分の言葉でまとめる				
				復習	日常生活のマナーの実践度チェックを振り返り、実践しなくなった理由をまとめる				
	第 3 回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・日常生活のホスピタリティ	予習	ホスピタリティに溢れた行動を書き出す				
				復習	ホスピタリティに溢れた行動ができるようになるか考える				
	第 4 回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成① 自己理解と社会に求められる能力理解	予習	サービスとホスピタリティの言葉の意味の違いを調べる				
				復習	日々の行動から自己理解を深める				
	第 5 回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成② 自己表現力の養成① 身だしなみ・立ち居振る舞い	予習	好感の持たれる身だしなみについて調べる				
				復習	体得した身だしなみ・立ち居振る舞いを実行する				
	第 6 回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成③ 自己表現力の養成②好感を与える言葉づかい・表現法	予習	言葉遣いの練習問題に取り組む				
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける				
	第 7 回	内容	エアライン研究① ・国内航空会社・外資系航空会社の比較	予習	興味ある航空会社を調べる				
				復習	発表に向けて航空会社の特徴をまとめる				
	第 8 回	内容	エアライン研究② ・国内航空会社・外資系航空会社の比較発表	予習	調べた航空会社のプレゼンテーション資料をまとめる				
				復習	他者の発表を聞いたレポートをまとめる				
	第 9 回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成① ・機内サービスを実践する お食事サービス	予習	機内のお食事サービスについて調べる				
				復習	お客様対応の実践から、日々の目配りを意識する				
	第 10 回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成 ② ・グランドスタッフの仕事研究	予習	グランドスタッフの仕事について調べる				
				復習	授業から学んだエアラインのホスピタリティを実践する				
	第 11 回	内容	エアライン適正開発① ・CA になるための訓練生の様子を考察する	予習	CA になるための適正について調べてくる				
				復習	CA の訓練の様子から自分に取り入れるものは何か、分析する				
	第 12 回	内容	エアライン適正開発② ・CA の仕事研究	予習	C A の仕事について調べる				
				復習	C A の立ち居振る舞いを実践する				
	第 13 回	内容	エアライン適正開発③ ・チームビルディング：伝わる聞き方・伝え方	予習	自分のホスピタリティ度を振り返る				
				復習	わかりやすい話し方を実践する				
	第 14 回	内容	エアライン適正開発④ ・機内アナウンス実践 （演習）	予習	機内アナウンスパターンの練習をしてくる				
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける				
	第 15 回	内容	総まとめ	予習	授業で習ったホスピタリティを振り返り、自分のホスピタリティ度を自己評価する				
				復習					
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	各授業内で記入したリアクション欄へ及び各回に出題する課題シートに対してコメントを行う							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（ 20%）、作品・発表（ 30%）、実技（ 30%）、授業態度【自主性・協働性】（20%）							
教科書	なし								
参考文献	『月刊 エアステージ』（イカロス出版）								
補足事項	授業で学んだことを日々復習し、自己表現力やマナー、コミュニケーションスキルを身につけられるよう取り組んでほしい。								

科 目 名	エアライン英会話		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	さ さ なおこ 佐々 直子
ナンバリングコード*	TOS3213		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（							

	成績評価の方法：レポート・課題（20％）、作品・発表（30％）、実技（30％）、授業態度【自主性・協働性】（20％）
教科書	『月刊 エアステージ』（イカロス出版）
参考文献	
補足事項	授業で学んだ英単語やフレーズを、旅行先や外国人との対話チャンスで活かしていく。 例：街中での道案内、レストランやカフェでの注文 飛行機を利用した時には飛行場や機内アナウンスを英語で聞き取るように意識する

科 目 名	観光英会話		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	はやし たかこ 林 貴子	
ナンバリングコード	TOS3222		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本授業では、海外からの訪問客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を目的とした英会話を学ぶ。 近年の訪日外国人の増加に伴い、英語による適切でスムーズなコミュニケーションを図ることが必要とされることを鑑み、外国人客と日本人スタッフの二者間の会話を中心として、ロールプレイング等による練習を行う。								
到 達 目 標	１． 外国人観光客に英語で必要な情報を提供することができる。 ２． 観光ビジネスや接客に関する基本的な英会話を身につけている。 ３． 外国人に英語で日本の文化や伝統を紹介することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ １， 2， 4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内 容	ガイダンス（授業概要説明、成績評価説明）	予 習	シラバスを読んでおく				
				復 習	授業の進め方や成績評価について確認する				
	第 2 回	内 容	Unit 1. Transportation	予 習	教科書の交通に関する語の意味と I C カードについての説明文について調べておく				
				復 習	交通についての会話文を音読する				
	第 3 回	内 容	Unit 2. At a Check-in Counter (hotel)	予 習	教科書のホテルでのチェックインに関する単語の意味を調べる				
				復 習	ホテルでのチェックインの会話を音読する				
	第 4 回	内 容	Unit 3. Facilities and Services (hotel)	予 習	ホテルの施設に関する単語の意味を調べる				
				復 習	ホテルの施設に関する会話を音読する				
	第 5 回	内 容	Unit 4. Giving Directions	予 習	道案内に関する単語の意味を調べる				
				復 習	道案内の会話を音読する				
	第 6 回	内 容	Unit 5. Recommending a Trip	予 習	海外からのお客様に観光スポットを勧める際に使う単語の意味を調べる				
				復 習	観光案内に関する会話を音読する				
	第 7 回	内 容	Unit 6. Dining in Japan ①	予 習	日本の食事に関する単語の意味を調べる				
				復 習	日本の食事に関する会話を音読する				
	第 8 回	内 容	Unit 7. Dining in Japan ②	予 習	日本料理を説明する際に使う語句の意味を調べる				
				復 習	日本料理を説明する会話を音読する				
	第 9 回	内 容	Unit 8. Arranging a Tour	予 習	海外からのお客様に国内旅行をアレンジする際の単語の意味を調べる				
				復 習	海外からのお客様に国内旅行をアレンジする会話を音読する				
	第 10 回	内 容	Unit 9. Staying at a Ryokan	予 習	旅館でのマナーを説明する際に使う語句の意味を調べる				
				復 習	旅館でのマナーを説明する文章を音読する				
	第 11 回	内 容	Unit 10. Culture Experience in Japan ①	予 習	日本の伝統文化を紹介する際に使う単語の意味を調べる				
				復 習	日本の伝統文化を説明する会話を音読する				
	第 12 回	内 容	Unit 11. Culture Experience in Japan ②	予 習	日本の年間行事を紹介する際に使う単語を調べる				
				復 習	日本の年間行事を説明する会話を音読する				
	第 13 回	内 容	Unit 12. Japanese Souvenirs	予 習	日本のお土産の紹介をする際に使う単語の意味を調べる				
				復 習	日本のお土産を説明する会話を音読する				
	第 14 回	内 容	Unit 13. Dealing with Health Problems and Emergencies	予 習	旅行中の病気について説明する際の単語の意味を調べる				
				復 習	お客様が病気をされた際の会話を音読する				
	第 15 回	内 容	Unit 14. Dealing with Complaints and Accidents	予 習	クレームや問い合わせへの対応で使う単語の意味を調べる				
				復 習	クレームに対応する際の会話を音読する				
	予習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	発言の際、発音や英語の表現等についてのフィードバックを行う。また授業内に実施する小テストの採点・評価をして返却する。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 授業内小テスト（ 6 0 ％）、授業内発表（ 2 0 ％）、授業態度【 積極的参加 】（ 2 0 ％）							
教科書	『Hospitality on the Scene』（上杉恵美・阿部佳・渭東史江・神末武彦・Jacob Schere、金星堂）								
参考文献	なし（必要な際はプリントを配布したり、動画を見たりする。）								

補足事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。会話のクラスなので、積極的に英語を話すこと。
------	--

科 目 名	文化を訪ねる		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード*	CUL3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	京都の歴史、文化、伝統工芸等について、各自の学びたいテーマを設定し、12月初旬に実際に現地へ訪ねテーマに合わせて学習する。 事前学習として、事前調査と行動計画の作成を行い、現地訪問後の事後学習として、学んだことを発表する。							
到 達 目 標	1. 事前学習において、テーマの設定、オンラインでの事前調査、活動計画の作成ができる 2. 活動計画を滞りなく実施し、グループメンバーと円滑なコミュニケーションを取ることができる 3. 事後学習において、自身の学んだことを Power Point 等を利用して発表することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方を理解する			
	第2回	内容	グループ決め、テーマ設定	予習	テーマの候補を用意しておく			
				復習	テーマに合わせた訪問先を検討する			
	第3回	内容	テーマに合わせたオンライン調査	予習	テーマに合わせた訪問先の候補を用意しておく			
				復習	各訪問先への移動時間を整理する			
	第4回	内容	行動計画の作成	予習	オンライン調査の内容を整理しておく			
				復習	行動計画を作成し、提出する			
	第5回	内容	京都を歩くⅠ	予習	美化活動で訪れる場所を確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第6回	内容	京都を歩くⅠ－2	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第7回	内容	京都を歩くⅠ－3	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第8回	内容	京都を歩くⅡ	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第9回	内容	京都を歩くⅡ－2	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第10回	内容	京都を歩くⅡ－3	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第11回	内容	京都を歩くⅢ	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第12回	内容	京都を歩くⅢ－2	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第13回	内容	京都を歩くⅢ－3	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第14回	内容	発表の準備	予習	実際に行動した記録を整理しておく			
				復習	発表資料を完成させ、提出する			
	第15回	内容	発表	予習	発表の練習をする			
				復習	自身の発表の振り返りを行う			
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	研修計画および発表について口頭でコメントします							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（40％）、作品・発表（30％）、実技（ ）％、授業態度【現地活動の積極性】（30％）							
教科書	指定しません。授業内で資料を配布します							
参考文献	指定しません。必要に応じて授業内で指示します。							
補足事項	京都を歩くⅠ～Ⅲは2泊3日の京都における集中講義です 評価基準（ルーブリック）： https://drive.google.com/file/d/1u1LHZSrntVtWzq1BVS-4eYddW2UbbGP3H/view?usp=sharing							

科 目 名	インターンシップ		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優	
ナハ°リンク°コート°	CAE3221		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本演習では、社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力の基本を理解し、身につけ、また、実際の現場での実習を通して各職業の実態を理解することを目指します。これらの学びや体験により、働くことの意味や責任をより豊かに考え、将来の職業選択に活かすことが求められます。								
到 達 目 標	1. 社会人として必要なマナー、コミュニケーション能力が身についている 2. 働くことの意味を理解し、意欲を持って職業選択に取り組むことができる 3. インターンシップ先の業界、業務について理解している								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2、3、4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	イントロダクション（インターンシップとは何か）		予習	シラバスを読んでおく			
					復習	本演習の概要を理解する			
	第 2 回	内容	基本的なマナー①（心構え、言葉遣い、身だしなみ等）		予習	必要なマナーについて考える			
					復習	各マナー、所作の練習をする			
	第 3 回	内容	基本的なマナー②（電話のかけ方、受け方等）		予習	一般的な電話の応答について調べる			
					復習	電話応答の方法を練習する			
	第 4 回	内容	書類の書き方、面接の受け方		予習	履歴書を書いてみる			
					復習	面接のマナーを練習する			
	第 5 回	内容	実習先の決定と申し込み		予習	インターンシップ先を検討しておく			
					復習	受入企業に連絡をする			
	第 6 回	内容	先輩から学ぶ（先輩による体験報告会）		予習	自身のインターンシップの過程を推測する			
					復習	先輩からの学びを整理する			
	第 7 回	内容	インターンシップ受入企業・団体の業種、職業の調査		予習	インターンシップ先の業界について調べる			
					復習	調べた内容をまとめる			
	第 8 回	内容	インターンシップ	受入企業の調査①	予習	翌日の実習の内容を確認する/社史を調べる			
					復習	実習時の学びを日誌にまとめる/調べた内容をまとめる			
	第 9 回	内容	インターンシップ	受入企業の調査①-2	予習	翌日の実習の内容を確認する/業務内容を調べる			
					復習	実習の日誌をまとめる/調べた内容をまとめる			
	第 10 回	内容	インターンシップ	インターンシップ①	予習	翌日の実習の内容を確認する			
					復習	実習の日誌をまとめる			
	第 11 回	内容	インターンシップ	受入企業の調査②	予習	翌日の実習の内容を確認する/社史を調べる			
					復習	実習の日誌をまとめる/調べた内容をまとめる			
	第 12 回	内容	インターンシップ	受入企業の調査②-2	予習	翌日の実習の内容を確認する/業務内容を調べる			
					復習	実習の日誌をまとめる/調べた内容をまとめる			
	第 13 回	内容	インターンシップ	インターンシップ②	予習	翌日の実習の内容を確認する			
					復習	実習の日誌をまとめる			
	第 14 回	内容	インターンシップ報告会準備			予習	全体としての実習記録を作成し、提出する		
						復習	報告会の練習をする		
	第 15 回	内容	インターンシップ報告会			予習	実習記録の最終版を提出する		
						復習	報告会の内容を振り返り、学びを深める		
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	インターンシップの派遣前後には面談を行います。また、インターンシップでの活動内容と報告会についてコメントを返却します。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（40％）、作品・発表（20％）、実技（40％）、授業態度【 】（ ）％							
教科書	指定しません。授業内で資料を配布します。								
参考文献	授業内で随時紹介します。								
補足事項	本授業のインターンシップは第 8 回より、5 日程度のインターンシップに参加する形式と、1 日のプログラムに複数回参加する形式に分かれます。どちらの形式で実施するかは授業内の教員との面談等を通して決定します。								

科 目 名	キャリアスタディ(企業人に学ぶ)		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳 他	
ナンバリングコード	CAE3213		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()								
授 業 の 内 容	企業との連携により実施する授業です。現役で働いている企業の方を講師としてお招きし、企業の職種・業務の内容を中心とした説明を受ける授業と社会人としてのマナーなどを学ぶ授業の２本立てとなっています。授業を通じて、就業する際に必要な「業種・職種」を理解し、併せて企業の「人材採用方針」「社会人としてのマナー」等についても認識できるようにします。毎回「課題レポート」等の執筆を課すアクティブラーニングの授業です。								
到 達 目 標	１．企業の職種、業種を理解することができる。 ２．企業の人材採用方針について理解することができる。 ３．社会人としてのマナーやTPOを知り、企業社会と働き方を認識することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (２．３．４)								
授 業 計 画	第 1 回	内容	学長講話	予習	シラバスを読んでおくこと。				
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。				
	第 2 回	内容	学長講話	予習	前回内容の復習と小レポート提出。				
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。				
	第 3 回	内容	学長講話	予習	前回内容の復習と小レポート提出。				
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。				
	第 4 回	内容	業界・企業研究①	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。小レポート提出。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 5 回	内容	業界・企業研究②	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 6 回	内容	業界・企業研究③	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 7 回	内容	SPI	予習	SPIについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 8 回	内容	業界・企業研究④	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 9 回	内容	業界・企業研究⑤	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 10 回	内容	業界・企業研究⑥	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 11 回	内容	社会人としてのマナー①	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 12 回	内容	社会人としてのマナー②	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 13 回	内容	社会人としてのマナー③	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 14 回	内容	社会人としてのマナー④	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 15 回	内容	社会人としてのマナー⑤	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題（気づきノートの作成）などを通じて学習内容の理解増進を図ります。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する／(○) しない 成績評価の方法： 筆記試験 () %、レポート・課題 (9 0 %) 作品・発表 () %、実技 () %、授業態度【課題提出状況】(1 0 %)							
教科書	特にしてしません。								
参考文献	特にありません。								
補足事項	毎回の授業内容を把握しているか否かを、授業終了後に提出する「課題レポート」の内容で判断します。成績評価の基準は「課題レポート」の内容によって決まります。毎回は試験のつもりで頑張ってください。								